

バチルス・サブチリス由来のミオイノシトール脱水素酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1100

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、イノシトール2-脱水素酵素 (EC 1.1.1.18) は、次の化学反応を触媒する酵素です: myo-イノシトール + NAD⁺ ⇌ 2,4,6/3,5-ペンタヒドロキシシクロヘキサノン + NADH + H⁺。したがって、この酵素の2つの基質はmyo-イノシトールとNAD⁺であり、3つの生成物は2,4,6/3,5ペンタヒドロキシシクロヘキサノン、NADH、およびH⁺です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD⁺またはNADP⁺を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。この酵素はイノシトール代謝およびイノシトールリン酸代謝に関与しています。

別名 マイオイノシトール 2-デヒドロゲナーゼ; マイオイノシトール:NAD⁺ オキシドレダクターゼ; イノシトールデヒドロゲナーゼ; マイオイノシトールデヒドロゲナーゼ; EC 1.1.1.18; 9028-25-5

製品情報

由来	バチルス・サブチリス
形態	液体
EC番号	EC 1.1.1.18
CAS登録番号	9028-25-5
分子量	~ 39kD
活性	~ 80 U/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 9.6および25°CのGlycylglycineバッファー中で、myo-inositolおよびNAD ⁺ から1μmoleのscyllo-inososeおよびNADHを生成するのに必要な酵素の量として定義されます。

保管・発送情報

保存方法 4°C